

## 鶴岡市生活安全推進協議会 会議録

- 日 時 平成28年6月24日（金） 午後1時30分から
- 会 場 鶴岡市総合保健福祉センター「にこふる」 3階 栄養指導研修室
- 協議次第 (1) 平成27年度鶴岡市の生活安全事業の実施状況について  
(2) 平成28年度鶴岡市の生活安全事業の実施計画について  
(3) その他
- 出席者 生活安全推進協議会委員13名（欠席：榎本政規会長、他5名）  
事務局員等8名 (名簿：別添1のとおり)
- 講 話 「鶴岡市の犯罪情勢について」  
鶴岡警察署生活安全課長 安藤忠和 氏（資料：別添2のとおり）

### 1 開会

#### 進行（増田危機管理監）

定刻となっておりますが、皆様お集まりいただきましたので始めさせていただきます。本日はお忙しい中、鶴岡市生活安全推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は防災安全課の増田と申します。本日進行を務めさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

開会に先立ちまして、名簿をご覧いただきたいと思っております。今回、委員の役職の方の異動に伴いまして、鶴岡警察署生活安全課長の安藤忠和様をはじめとしまして、7名の皆さまから、後任としてご就任いただいております。資料網掛けをしておりますので、ご確認お願いいたします。任期につきましては、前任者の残任期間であります平成29年7月31日までとなっております。感謝申し上げますとともにどうぞよろしくお願いいたします。

それではこれより、鶴岡市生活安全条例第5条に基づく「鶴岡市生活安全推進協議会」を開催いたします。開催にあたりまして、山本益生 鶴岡市副市長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い致します。

### 2 あいさつ（山本副市長）

皆さんこんにちは。本日はご多忙のところ、鶴岡市生活安全推進協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、日頃より防犯に関する事業をはじめ、本市行政施策の推進につきましても、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに対しまして、あらためて厚くお礼申し上げます。

さて、この会議は、鶴岡市生活安全条例に定めるところにより開催するものでございます。

もとより犯罪の取締りは、警察ご当局より主導していただくものでございますが、本市といたしましては、犯罪の予防、安全な都市づくりの観点から、関係機関、団体との連携のもとに協働して、必要な取り組みを進めて行きたいと考えているとこ

ろでございます。

今日の犯罪情勢につきましては、この協議会終了後、本日委員としてご出席いただいております鶴岡警察署生活安全課長より、詳しいお話があると伺っておりますが、刑法犯の認知件数が平成14年をピークに減少しているものの、高齢者を狙った悪質な振込め詐欺を始めとする特殊詐欺の被害額は、年々増加しております。

また、本市においては、空き家が年々増加傾向となっており、5年前と比較し、約500棟が増加しております。昨年は、鶴岡市街地の空き家を狙った侵入窃盗による被害が確認されており、本市といたしましては、「安全で安心なまちづくり」の実現に向け、鶴岡警察署をはじめ、関係機関、団体と緊密な連携を保ち各種施策を進めてまいり所存でございます。

犯罪、事故等の未然防止には、何よりも「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助の意識を高めていただきながら、日頃からの防犯活動・啓発運動こそが、大きな効果をもたらすものと認識しておりますので、皆様方からのより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第でございます。

最後になりますが、委員の皆様におかれましては、本市及び市民生活の安全を図るため、本協議会において忌憚のないご意見、ご指導をいただくことをお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。

#### 進行（増田危機管理監）

本日の会議の出席状況でございますけれども、全委員18名中、13名の皆さまからご出席をいただいております。これは「鶴岡市生活安全推進協議会規則第4条第2項」に定める出席者数を上回っておりますので、ご報告申し上げます。

それでは、協議に入らせていただきます。議長は同規則第4条第1項において、会長が務めることとなっておりますが、会長欠席でございますので、会長職務代理の山本副市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

### 3 協議

#### 議長（山本副市長）

それでは、暫時の間、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。それでは、お手元の次第の「3 協議」に入らせていただきます。（1）平成27年度鶴岡市の生活安全事業の実施状況について、事務局から説明をお願いします。

#### 事務局（加藤防災安全専門員）

防災安全課の加藤と申します。よろしくお願いたします。

それでは、平成27年度鶴岡市の生活安全事業の実施状況につきましてご報告いたします。

1ページをご覧下さい。

はじめに、「1 防犯啓発活動」につきましては、鶴岡市防犯協会を介しての活

動となりますが、各地域共通の広報活動といたしまして、年末防犯チラシを 1/1 号の広報に折込みをしたほか、「防犯つるおか」の発行や地域安全運動期間中に防犯チラシの配付、公共施設等へのポスターの掲示を行っております。

また、研修会の開催や、少年の主張大会、防犯作文の募集などを行い、防犯作文につきましては、(3)へ記載の 9 校より最優秀 1 点、優秀 3 点、優良 2 点を選定し、防犯協会の会長・副会長が、各小学校にお伺いし、賞状授与を行って、子供たちの防犯意識の高揚を図ったところでございます。

2 ページに移りまして、地域ごとの活動状況でございますが、はじめに鶴岡地域につきましては、街頭啓発といたしまして、「青少年を守る店運動」を鶴岡市青少年育成市民会議と合同でコンビニ・カラオケ店などの巡回を行ったほか、防犯協会員による年末店頭啓発運動や大泉支部による「だだちゃ豆パトロール」の活動など、鶴岡警察署生活安全課と連携して各種防犯活動を行っております。

次に、藤島地域でございますが、「明るいやまがた夏の安全県民運動」等での街頭活動のほか、各町内へ防犯のぼり旗を設置して啓発活動を行っております。

また、広報活動といたしまして、各種運動期間中にポスターや防犯チラシの配布などを行ったところでございます。

次に、羽黒地域でございますが、地域環境点検整備といたしまして、手向支部では、夜間パトロールや手向バイパスの道路清掃を行っており、3 ページに移りまして、広瀬支部では地域住民を対象とした防犯研修を実施しております。

櫛引地域でございますが、街頭啓発活動といたしましては、サクランボ盗難防止パトロールを実施したほか、夏の安全県民運動期間中に店頭での啓発や、交通関係団体と合同による産直施設での啓発活動をおこなったところでございます。

また、各種広報活動、啓発物品の配布、研修会の実施など防犯啓発を図ったところでございます。

4 ページに移りまして、朝日地域でございますが、各種防犯チラシ・ポスター配布・掲示のほか、防犯作文やポスター募集を通して、地域の安全活動へ参加しているところでございます。

最後に、温海地域でございますが、街頭啓発といたしましては、青色回転灯装着車による温海管内のパトロールを実施したほか、交通安全関係団体と連携し、「安全運転ふれあい活動」を実施しております。

また、児童と高齢者を対象にした防犯啓発物品を配布するなど、防犯意識の高揚を図ったところでございます。

以上が地域共通及び各地域での活動状況でございます。

続きまして、「2 防犯灯整備事業」及び「3 子どもの安全対策関連事業」でございますが、担当課でありますコミュニティ推進課と教育委員会学校教育課の担当職員がご説明申し上げます。

事業担当課（難波主任）

コミュニティ推進課の難波と申します。よろしく願いいたします。

「防犯灯整備事業」につきましては、

「(1) 防犯灯新設工事」ということで、鶴岡市全域において、8灯全てLED灯で設置いたしました。

「(2) 防犯灯新設更新補助事業」といたしましては、住民自治組織が行う防犯灯の新設・更新・専用柱の設置等について補助金を交付しており、新設補助金として38灯、更新補助金4灯、専用柱補助金15本を行っております。以上となります。

事業担当課（前田専門員）

教育委員会学校教育課の前田と申します。どうぞよろしくお願いたします。それでは、資料の5ページになります「子どもの安全対策関連事業」についてご説明いたします。

「(1) 青少年健全育成事業」といたしましては、青少年市民会議、青少年育成推進員連絡協議会、教育委員会を中心に活動しております。以下の7点の活動がありました。1つ目、「市民会議会報」の作成配付を各家庭に行っております。2つ目、小中学生のいる家庭におきまして、「親子活動事業スポーツカレンダー」というものを配布させていただきました。3つ目、「青少年育成推進員研修会」を開きました。4つ目、長期休業中等の「特別街頭指導」を行いました。5つ目、登下校の指導につきましては、学校を通して行っております。6つ目「子ども会リーダー研修会」これは地区ごとの開催になっておりまして、櫛引地区などでは子ども会リーダー研修会等が盛んに行われております。最後7つ目です。「子育てフォーラム」開催ということで、家庭教育講演会を開催いたしました。

「(2) 児童・生徒総合安全対策推進事業」につきましては、パトロール用品の支援をしております。具体的なものとしましては「見守り隊用ベスト」、子供たちが下校するとき、蛍光グリーンベストを着た方たちが子供たちの下校などを見守ってくださっていると思いますが、その方たちに着ていただくベストを27団体に送らせていただいたところです。

「(3) 青少年育成センター事業」です。青少年育成センターはご承知のとおり、鶴岡駅前マリカの2階にセンターがございます。そちらに4人常駐しているところですが、街頭指導を年間242回行い、指導した少年の数72名となっております。少年相談の電話がくることもございます。10件ございました。③「環境点検改善活動」といたしまして、青少年を守る店運動、有害図書類自動販売機環境点検、有害広告物除去を行いました。④といたしましては、研修活動で育成委員研修会等を行ったところです。

最後に「(4) 防犯パトロール」として、青色回転灯搭載車による巡回パトロールの実施を行いました。本市で5名スクールガードリーダーとよばれる方たちが、市内の小・中・高校周辺地域における下校時を中心としたパトロールをしていただいているところであります。以上です。

事務局（加藤防災安全専門員）

続きまして、「4 自主防犯活動支援等事業」でございますが、防犯用品の購入

補助につきまして、対象28支部中17支部より申請がございまして、のぼり旗などの購入費用に補助を実施しているところでございます。

6ページに移りまして、地域安全推進モデル事業補助金の交付につきましては、地域における安全活動の推進を図るため、申請のあった支部より、過去の助成経過も勘案し、平成27年度は温海・手向の2支部に助成をしております。なお、それぞれの支部の活動は記載のとおりとなっております。

最後の、「5. その他」でございしますが、はじめに「(1)の意識高揚、啓発イベントの開催」につきましては、鶴岡、藤島、羽黒、櫛引、温海の各地域におきまして、まちづくり大会が開催されており、防犯、交通安全につきまして意識高揚を図っているところでございます。内容につきましては、記載のとおりとなっております。

7ページに移りまして、「(2)の消費生活対策事業」でございしますが、通信関連に対する相談・苦情が非常に多く、具体的には、光回線契約のトラブルで、パソコンあまりを利用してしない高齢者宅へ、低料金設定の電話勧誘について、高齢者の方が、はっきりと内容を確認しないまま承諾してしまったという相談が多いようでありました。

防犯の観点からも広報啓発の強化を図るものですが、本市としましては、引き続き、市民課に消費生活相談員を配置して、各種相談に応じていくものであります。記載の表は苦情・相談の内訳となっております。

次に、「(3)の鶴岡市広報への掲載」につきましては、折込のほか、記載記事のとおりとなっております。

最後に、「(4)の放置自転車対策」でございしますが、自転車盗難の未然防止と都市環境保全の観点から本市都市計画課におきまして、JR鶴岡駅周辺で、4月、10月に鶴岡警察署、市内各高等学校等の協力をいただきながら、放置防止の指導と長期間放置自転車の撤去を実施いたしております。

内容は表のとおりでございます。

以上、平成27年度の実施状況でございます。

議長（山本副市長）

はい、それでは報告ありましたけれども、今の内容について、何かご質問ございませんでしょうか。ご発言願います。

委員（質問1）

私達、県民協のほうでは県知事との懇談会の席上、スクールソーシャルワーカーの全校への配置ということを昨年12月に吉村知事に意見上申したところであります。現に人数の方は平成26年度には20名、今年は8名だとかそういうことは聞いておりますが、現に庄内地区といいますか鶴岡においてはどこに行ったらスクー

ルソーシャルワーカーさんと会えるのですか。

事業担当課（前田専門員：回答1）

お答えします。

鶴岡市としましては、スクールソーシャルワーカーを1名今年度配置しております。木津 美加子さんという方です。鶴岡市の教育委員会櫛引庁舎3階の学校教育課にいらっしゃるのですが、各学校から要請があった日はそちらのほうに出向いておりますので、必ずしもいらしゃった時にお会いできるとは限らないので、もしお会いに来る際には一度こちらのほうに連絡をいただければ、いつ来るのかと木津さんに連絡して調整するのは可能ですので、基本的に教育委員会のほうに配置されているということでご理解いただければと思います。よろしくお願い致します。

議長（山本副市長）

三浦さん、よろしいですか。

委員（質問2）

もう少しいいですか。

現に学校の先生方から準要保護児童の問題なんですが、給食費はそのへんから払っていただけるのですが、その他のお金の支払いが滞っているのでどこに相談したらいいんですかと相談を受けたのですが、先生方にそれで私片岡さんのほうに連絡をとって相談するようにと学校の先生方には言ってあります。それでよかったのですか。

事業担当課（前田専門員：回答2）

スクールソーシャルワーカーの働きに関しましては、昨今、話題になっております貧困家庭問題には課題もありますが、なかなか学校の先生に関しては、家庭の領域に入りにくいというところに関しては、スクールソーシャルワーカーが間に入ることで調整をしていただくということが大きな仕事でございます。

まず、学校から子育て推進課に入ってください、教育委員会のほうにも生徒指導担当のものがおありまして、そちらの担当と片岡さんとやりとりする中で、木津さんからも間に入ってください調整をしていただくという流れでございますので、今のような形でよろしいかと思えます。

議長（山本副市長）

そのほか、何かありませんか。小さなことでもいいのですが。

委員（質問3）

また、教育委員会にですけれども、(3)の中の有害広告物除去という項目が載っていますが、私達が回ってみると見当たらないもですが。まだ、そういうものはあるのですか。

事業担当課（前田専門員：回答3）

「有害広告除去」という項目が残っているのですが、実際には青少年育成センターを主にしてパトロールをし、(1)の中の④の「長期休業中等の特別街頭指導」を中心にして、そういう広告がないかどうか回っている状況でありますけれども、具体的にこちらの教育委員会のほうにはそういう広告物があるという声は最近はあまり聞こえてこないかなと思われませんが。  
一応、残っている可能性があるということでこの文言を残させていただいたということでもあります。

委員（質問4）

もう一点ですが、「有害図書類自動販売機」というのが載っていますけれども、私が見る範囲では七窪と五十川の所の二か所ほどあるんですけれども、そういうものへの対応はどのようにしているのですか。

事業担当課（前田専門員：回答4）

街頭指導として回っているなかで、あそこの場所には有害図書の販売機があるなど確認は取れているのですが、あちらのほうも営利目的で置かれているものですから、除去がなかなかできないというのが現状であります。  
小学生、中学生にとって影響を与えそうな箇所に配置されているものに関しては、やはり強く働きかけてはいるのですが、見ていると車の通りが多い所だとか、通学路に置いてあるという所があまり見られないというのが現状でして、明らかに子供達の生活に影響を与える所に関しては強く働きかけておりますが、営利目的でありましてなかなか線が越えられないところが現状であります。

議長（山本副市長）

ありがとうございました。そのほかに。  
では、ないようですので、(1)実施状況については、ご了承いただいたということで、よろしく願いいたします。  
それでは(2)の平成28年度鶴岡市の生活安全事業の実施計画について、説明をお願いいたします。

事務局（加藤防災安全専門員）

平成28年度鶴岡市の生活安全事業の実施計画につきましてご説明申し上げます。  
8ページをご覧ください。

はじめに、「1 防犯啓発活動」でございますが、(1)地域安全活動の推進につきましては、山形県防犯協会連合会や鶴岡警察署等と連携を図りながら、各季における地域安全活動のほか、防犯意識高揚のための広報活動を行って参ります。

また、(2) 安全で明るいまちづくり大会等につきましては、交通安全関係機関などとも連携しながら、実施するものであります。

次に、(3) 地域防犯組織の充実と防犯活動の推進につきましては、防犯協会運営への助成を実施するほか、(4) 青少年の健全育成と環境づくりにおきましては、「万引きをしない、させない、ゆるさない」の3S運動の推進など鶴岡市青少年育成市民会議等で推進する関係機関・団体の運動と協調しながら、青少年の健全育成と環境づくりを図って参ることとしております。

9ページに移りまして、(5) 高齢者が犯罪に巻き込まれないよう安心して暮らせる環境づくりの推進につきましては、近年においては、高齢者が犯罪に巻き込まれる可能性が高くなっていることから、一人暮らしの高齢者宅に防犯訪問や積極的な声かけを行いながら、地域が一体となって、高齢者が犯罪に巻き込まれないよう取り組むものとして、鶴岡市防犯協会の重点事項に掲げ、推進するものであります。

次の「2 防犯灯整備事業」と「3 子どもの安全対策関連事業」についてでございますが、それぞれ担当課よりご説明申し上げます。

事業担当課（難波主任）

それでは、「2. 防犯灯整備事業」について説明させていただきます。

(1) 防犯灯新設工事ということで、今年度も地域と調整を図りながら市内の約10灯ほどの防犯灯の新設工事をする予定です。新設の際はLEDで実施する予定です。(2) 防犯灯新設更新補助事業につきましては、住民自治組織が行う防犯灯の新設について補助金を交付する予定です。以上になります。

事業担当課（前田専門員）

それでは、教育委員会の平成28年度鶴岡市の生活安全事業の実施計画について説明します。

(1) 青少年育成健全事業では、今年度もスポーツカレンダーを配布しておりますし、④のところの長期休業中等の特別街頭指導も今年度も実施していきたいと思っております。(2) 児童・生徒総合安全対策推進事業といたしましては、各地域の見守り隊の方に対して今年度もベストを配布したいと思っております。120枚作成とありますが、できれば希望にそえるように120枚より多く配付できるようにしたいところでございます。(3) 青少年育成センター運営事業といたしましては、先程申しました通り「有害広告物除去」を残しつつも、今年度も子供達の安心・安全な環境を提供できるような活動を推進していきたいと思っております。(4) 防犯パトロールといたしましては、引き続き今年度も5名のスクールガードリーダーの方から各小学校を回っていただき、巡視していただきたいと思っております。今年度、熊が多く出没しています。熊が出た際も、スクールガードリーダーの方をお願いして巡回を強化していただいているところであります。私からは以上です。



事務局（加藤防災安全専門員）

続きまして、「4 自主防犯活動支援等事業」でございますが、（1）防犯用品の支給・支援につきましては、鶴岡市防犯協会を介しての事業となっております、引き続き、防犯のぼり旗などの購入に対する補助を行って参ります。

また、（2）地域安全推進モデル事業につきましても、防犯協会支部が行う新たな取り組みなどに対しましてモデル事業に指定し交付金を交付するものでございます。

次に、「5 その他」でございますが、（1）各地域における防犯イベントにつきましては、防犯意識の高揚や交通安全推進を目的として、記載の地域・内容によりまして開催して参るものでございます。

また、（2）消費生活対策につきましては、市民課の所管事業となりますが、消費生活問題に対応するため、これまでと同様に、消費生活相談員を配置し、相談に応じるとともに、市民への啓発や消費団体の育成に努めて参るものでございます。

（3）広報誌への記事掲載につきましては、防犯及び消費者犯罪被害防止のため、広報つるおかへの掲載やチラシの折り込みなどの広報活動に努めてまいります。

最後に、放置自転車対策につきましては、引き続き盗難の未然防止や都市環境保全の観点からJR鶴岡駅周辺で、放置防止の巡回指導や長期間放置されている自転車の撤去を実施して参ります。

平成28年度の実施計画につきましては、以上でございます。

議長（山本副市長）

はい。ありがとうございました。それぞれの事業、実施計画に基づいて、実施しているところもあると思えますけれども、皆さん何かいろいろな事業についてご意見、ご質問がございましたら。

委員（質問1）

私、青少年育成市民会議に関わっているのですが、この会議にはこの度初めて参加したのですが、一つお伺いしたいのは防犯の要するに犯罪を防ぐとかそういう目的でこの会があるのかもしれませんが、ただ明るく暮らしやすい環境づくりという意味合いからすると、そういった犯罪そのものだけでなく基本的に日常生活の中に市民全員の間人間関係が明るく関わっているという、青少年というのは二十何歳かのくらいまでで別に年齢はありませんが、小中高校生そして成人ということで考えると、私、今年度の総会が来週あるのですが、新しい試みをしたいと考えていることが一つあります。というのは私達の今の市民会議という組織が旧1市4町1村の形で動いています。まさに、鶴岡市一本になっていないという組織で、私もその所が長くなったので教育長さんや部長さんと3月に話したところですが、青少年に関わる運動を進める、活動を推進したいと考えても、地元の鶴岡市の部分でしかできない。そういった意味で鶴岡市の子供と言った時に、今日は各地域の防犯協会の方々がおりますので、是非私達と一緒に運動できないかなと提案させていただいた

いのですが。まだ、総会にも提案してないのですが、全市あげて「あいさつ運動」をしてみたいと。その「あいさつ運動」というのは、人と人を結ぶ最初の動きかなと活動、運動かなと考えていました。ところが、旧鶴岡市のみのものではなくて酒田市のように、酒田市は合併当時から一本の組織がありますけれども、鶴岡市の場合はちょうど私が総合支庁の青少年専門員になっていた時に合併がありまして、当然進め方が鶴岡市と酒田市は違うと。いずれ一本になるという動きの中での育成関係の活動でしたけれど、鶴岡はまったく組織がそのままになっていたのも部長さんと話した時に学校教育課対応と社会教育課対応というのがあって、窓口はありますがそれぞれ違っているということでしたが。このような「あいさつ運動」を推進する時に、私は窓口さえあれば学校教育課であろうが社会教育課であろうが、どの課でもいいだろうというふうに個人的には思っています。要するにそういった活動、運動を進めるにあたって、窓口の人が一緒になって会議に参加していただいて、よりよい住みやすい明るい地域づくりをしてみたいと思って、今年の総会で提案しようと思っています。どうしても鶴岡市の子供というとなんか県でもそうですが、「鶴岡市はどうなっているんだ」と。私が代表で出ていきますが、旧鶴岡市だけの組織なので、庄内の組織はありますが、庄内の組織の中にも羽黒町と櫛引は一応地区支部をもってまして、私達と同じように会議に出てくる時があります。しかし、常に出るのではなくて。いろんな庄内管内の中でもう少し早めに全市的な組織になれないのかという意見、お叱りを受けているのですが。そんな状況の中で今日、防犯という意味合いで集まっている中でちょっと別な方向の話をしてしまったのですが、ただ基盤作りとしては、防犯をより良い安定した取組にするにはやはり「あいさつ運動」を全市でやれないかと。お金もかからないし、ですから学校やPTA、そして私達の組織、それから防犯協会の人達、それぞれみんなが4月の入学、始業の時に一週間やその間での都合のいいところで全市のみんなが取組み、全市的なことをしていけば、防犯的にもスムーズに進められないかなと。また、二学期の始まりの8月の末頃に、4日から一週間の間に都合のいい時に全市的な子供から大人まで、お年寄りも含めてですが、そのような運動を進めていきたいと今考えているのですが。もし、ご意見があったらお聞かせ願いたいと思います。

議長（山本副市長）

はい、これは所管はどこになっているのですか。

事業担当課（前田専門員）

たぶん、社会教育課だと思います。

議長（山本副市長）

だとすれば、教育委員会の問題として意見が出たと話をして下さい。よろしく願います。その他、なにかありませんか。

委員（質問2）

3月の末に教育長さんが変わることがわかって、難波教育長さんがおられる時も、この話について進めていただきたいと話したところです。変わるということで急いで教育委員会のほうに行って私の考えをプリントして小細沢部長にその内容をお話ししたところです。何も今困ったことはそんなにないので、ただ動きを一緒にしようというところがないのがどう考えてもおかしいと思います。私も長くなったのに自分が辞められない。なんとかそこのところの道筋だけではきちんとして自分は退任したいと思っているのですが。やはり、次の人にバトンタッチするには将来が見えるというか、目指すものがはっきりしているとやりやすいのではと思っています。今年度は、部長さんといろいろ話をさせていただいているので、なんとかいろんな意味で育成関係のすべて小中高校とPTAと地域の関係者と進めていけば難しいことではないのではないかと思います、何かの機会に話題にさせていただきたいと思います。これは4年目になります一つの県民運動がありまして、ご存じかと思いますが「いじめをなくそう山形県民運動」があります。1年目の時に鶴岡で県民大会がありまして、私も発表させていただきました。いじめがどうしたらなくなるかと、そんな話になった時に私は家庭と地域のありようを具体的に進めていこうと。学校はそれぞれの学校の中でいじめ対策を一生懸命考えて取り組んでいるわけですが、それよりも大事なのは家庭が我が子の我が孫の状況をどう捉えているのかということを考えて時に、そのいじめをなくすためには家庭でいじめについて話合って標語を作っしてほしいということをお話ししたところでした。親子で考える、家庭で考えるというのを一年に1回か2回話し合っただけであれば、また学校で取り組んでいるいじめ防止についても効果があるのではないかと。また、7月に私も全学校を訪問して今年も募集しますので、是非家庭でみんなで話合っって標語を作っって提出してくださいとお願いに上がるつもりでいます。地域ではどういうふうにするかとなった場合、地域のみんなでコミュニティみんなで子供たちの年齢でやる活動がいろいろあるかと思います。地域で活躍できる場面を作っっていただいて、それを大人が子供たちの姿を見て褒め認めそして地域に貢献できる組織づくりを継続していただければという思いがあっって、いじめをなくすには家庭のありようと地域のありようを工夫したらどうかと提案を進めているところです。ちょっと話が別の方向にいきましたが、そういった意味での鶴岡市が一つになってないのがちょっと残念に思っっているだけなんで、できるだけ早く学校教育課でも社会教育課でも一つの大きい鶴岡市の子供達という対象での組織をなんとかしたいと思っっているんです、ご理解ご協力をお願いしたいと思っっております。

議長（山本副市長）

お話しして下さい。とにかく言われたらすぐしないと、課題がなんであるかを含めて。よろしくお願ひします。

委員（質問3）

その件で、今お話があつた青少年市民会議の中に羽黒支部があります。ついこの間羽黒支部の総会が行われました。旧1市5町の中で確かにいろんな活動の仕方が

ありますけれど、羽黒に関して言えばあいさつ運動とか羽黒大家族会議とかいろんな地域での子供達への防犯を含めて健全育成を含めて活動をしています。その組織は家庭から会費も頂戴しています。ですから、各1市5町の中でそういう活動を行う基盤になっているものが違うものですから、いきなりそれを括ってしまうのではなくて各地域に合うものを大切にしながら、同時に鶴岡市としての方向づけ、その方向づけの中で具体的にあいさつ運動をしましょうと。それが各地区の担当の方から集まっていただきましてやっていくと、そういうことは取りあえず可能だろうと思います。そういうことで徐々にまとまりをつけていただければ、とりあえず現在は子供達の育成というのは具体的に言えば、より狭い方が細やかな指導ができるのですが。そういうことを含めながら進めていただければありがたいなと思います。

議長（山本副市長）

はい、山田先生が言うのもわかりますので、組織としての鶴岡市がどうやったらいいかという方向づけをしないとこの問題については制御できないと思います。

委員（質問4）

確かにそのことを私も考えました。要するに地域が発展するにはそれなりの工夫した町づくりをして今がある、考え方がある。ですからそれを一本化するのではなくて、何か共通なものがないかと探し出していく。それから会費のことですが、一番お金持ちなのが羽黒さんで、藤島さんもそうですが。鶴岡市の場合は一世帯20円、30,000世帯位あるので600,000円位になるのですが。要するに予算も一緒にするということではなくて、今お金が市から援助されているのは三つだけなんです。羽黒と藤島と鶴岡。今形としてできているのは朝日地域、これは前からも進んでいて今もやっているんですけど。温海と櫛引は公民館を主としています。ですから、それぞれの地域で進め方も違いますし予算も違いますし内容的にも違う。確かに発想するには小さい範囲のほうが成功する充実するということはあるんですが、そうしたら、鶴岡市の子供と考えた時にこれでいいのかということが、私が説明した共通して子供たちに関わる、そんなに難しくない活動、運動ができたらなあというのがあいさつ運動かなと。そういう意味でお金のかからない組織の関わりの中でみんなが子供のあいさつだけでなく、隣組を含めたあいさつを市の取り組みとしてやればなど、それが一つの組織の考えかな、今あるそれぞれの地域の防犯関係、育成関係の部分はいじらないで、共通してできることをしていきたいなと思っています。

議長（山本副市長）

はい、それではさっき言ったようにそれぞれに話を伝えて、投げておかないようにして下さい。

それでは（2）の平成28年度鶴岡市の生活安全事業の実施計画について了承していただいたということで、よろしく願いいたします。

その他に皆さん何かありますか。

委員（質問5）

昨年、藤島中学校で鶴岡警察署が介入いただいた案件が1件または2件あったということで、私の所に地元の人から問い合わせがあるのですが、実際どういういじめであるか、非行であったか、暴力であったか、それとも窃盗であったか。話せる範囲内で結構なんですけど教えていただければと思います。

事業担当課（前田専門員）

校舎のガラスが破損したケースがございました。これは休日の出来事で雪投げの延長で当たってしまっただけということなんですけど、少し話を聞くと、人間関係のトラブル等、その子の持っている気質があったという事例がございました。

議長（山本副市長）

皆さんからはその他ございませんか。

一応協議事項については終了いたしましたので、議長を降ろさせていただきます。どうもありがとうございました。

進行（増田危機管理監）

どうもありがとうございました。副市長は公務のためここで退席させていただきます。

続きまして、次第の「4 講話」に移らせていただきます。「鶴岡市の犯罪情勢について」と題しまして、本日ご出席いただいております鶴岡警察署の安藤忠和生活安全課長より講話をいただきたいと存じます。

安藤様、よろしくお願いいたします。

#### 4 講話

講話「鶴岡市の犯罪情勢について（治安情勢と特殊詐欺等）」

鶴岡警察署生活安全課長 安藤忠和 氏

配付の紙資料（別添2）により講話

#### 5 閉会

進行（増田危機管理監）

安藤様、どうもありがとうございました。

以上で予定しておりました協議等をすべて終了いたしました。

本日はどうもありがとうございました。